

礼儀ほど美しいものはない

渋沢 栄一
しぶさわ エイイチ

神社は心のふるさと
うるわ
未来に受け継ごう「美しい国ぶり」

礼儀とは人の持てる
最高の美德である

渋沢栄一

日本の資本主義の父とされ、新貨条例、国立銀行条例など諸制度改革を行なう。日本に株式会社（合本組織）を導入、第一国立銀行（現みずほ銀行）を始め多種多様の会社約五百社の設立や創設に関与し日本資本主義の発達に大いなる貢献をした。

令和四年より新一万円札の図柄が渋沢栄一となる。

いざな さん びき し まい 神道知識への誘ひ「三四獅子舞」

三四獅子舞は、関東地方とりわけ旧武藏国（埼玉県・東京都・神奈川県東部）に広く分布する一人立ちの三人一組からなる獅子舞です。獅子は腹にくくりつけた太鼓を打ちながら舞い、篠笛とさらさらが伴奏につき、天狗太夫、神主といった道化役がいるものもあります。主に神社の夏祭礼として、五穀豊穣、疫病退散、防災、雨乞いなどの祈願や感謝のために行われるものが多く、正月にみる獅子舞とは異なる神楽での一般的な獅子舞とは異なる中世・近世に発達した獅子舞です。

